

	九州大学 保健系分野（看護学・医療技術学、学際・特定）
学部・研究科名	<p>医学部保健学科</p> <p>看護学専攻（第1年次：69名）</p> <p>放射線技術科学専攻（第1年次：34名）</p> <p>検査技術科学専攻（第1年次：34名）</p> <p>医学系学府保健学専攻(M：20名、D：10名)</p>
沿革・設置目的	<p>京都帝国大学福岡医科大学附属医院看護婦養成科、九州大学看護学校等を経て、看護学・放射線技術科学・検査技術科学に関する教育・研究を行うことを目的に、昭和46年、九州大学医療技術短期大学部が設置された。</p> <p>昭和24年（1949年） 新制九州大学設置</p> <p>昭和46年（1971年） 九州大学医療技術短期大学部設置</p> <p>平成14年（2002年） 九州大学医学部保健学科設置</p> <p>平成16年（2004年） 国立大学法人に移行</p> <p>平成19年（2007年） 九州大学大学院医学系学府保健学専攻設置</p>
強みや特色などの役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 医学・歯学・薬学・保健学が協働し、それぞれの専門性に立脚した多職種間連携教育により次世代を担うグローバル人材を育成し、産学官連携開放型の国際ライフイノベーション拠点として、先進的な基礎研究に裏打ちされた先進医療の研究開発と医療を推進する。</li> <li>○ 保健学教育を技術習得のための職能実践教育から実学に基づく「サイエンス」としての教育へと進化させ、九州大学の理念等に基づき、豊かな人間性を養い、国際化や技術革新に対応しつつチーム医療の現場でリーダーシップを発揮できる医療者や教員、研究、行政で活躍できる人材を育成する。</li> <li>○ 学部と大学院で連続性のある質の高い教育を行い保健学の研究者・教育者の育成、研究マインドを持つ医療職者の養成を推進する。さらに医療現場での研究を推進するために現場で働く専門職者の研究を支援する。</li> <li>○ 附属病院との連携を活かし、看護実践能力を高め、キャリア形成を支援する取組を積極的に推進するとともに、看護・医療技術系教員の教育力・研究力向上の取組を積極的に推進し、医療系人材の需要急増に伴う</li> </ul>

問題解決に貢献する。

- 大学院におけるアジア保健学コースの設置や保健学国際フォーラムを通じた交流などの取組を発展させ、アジアを中心に世界の保健学の発展に貢献する。